

(資 料 提 供)
令和6年7月26日
生活環境部カーボンニュートラル推進課
課長 斉藤
竹山
外線：076-225-1529（内線：4338）

いしかわエコデザイン賞 2024「県民 Web 投票」の受付開始について

いしかわエコデザイン賞は、カーボンニュートラルの実現(地球温暖化対策)、里山里海保全などの自然共生、資源循環(3R)、環境保全のための情報発信やパートナーシップ(参加・国際的取組)など、持続可能な社会の実現に繋がる、石川発の優れた製品(モノづくり)やサービス・建築(コトおこし)、教育・社会活動(ヒトづくり)を育むことを目的にした賞です。

このたび、いしかわエコデザイン賞 2024 にエントリーし、一次審査を通過した応募作品について、下記のとおり、県民 Web 投票を実施します。

<県民 Web 投票> ※詳しくはチラシをご参考ください。

- 1 投票期間：令和6年7月26日(金)から令和6年8月25日(日)まで
- 2 概 要：県民の方々が、各領域(製品、サービス・建築、教育・社会活動)から、最も優れていると思われる取組をそれぞれ1件ずつ選び Web で投票
- 3 応募内容：以下の「いしかわエコデザイン賞 Web 投票サイト」をご参考下さい
<https://ishikawa-ecodesign-touhyou.com>
- 4 投票特典：投票者には、いしかわエコデザイン賞 2024 の受賞作品を抽選でプレゼント

いしかわ

| 2024 |

エコデザイン賞



Web投票受付中



いしかわエコデザイン賞って？

いしかわエコデザイン賞は、カーボンニュートラルの実現（地球温暖化対策）、里山里海保全などの自然共生、資源循環（3R）、環境保全のための情報発信やパートナーシップ（参加・国際的取組）など、持続可能な社会の実現に繋がる、石川発の優れた「製品（モノづくり）」「サービス・建築（コトおこし）」「教育・社会活動（ヒトづくり）」を育て、発信していこう、という賞です。

投票方法

製品、サービス・建築、教育・社会活動の各領域から、最も環境保全に役立つと思われる取組をそれぞれ1件ずつ選んでください。

HPの専用フォームから



投票期間：

7月26日～
8月25日

URLはこちら

https://apply.e-tumo.jp/pref-ishikawa-u/offer/offerList_detail?tempSeq=3280

「いしかわ環境フェア2024」の会場から

応募作品をいしかわ環境フェアの会場内ブースで紹介し、併せて投票も受付します。ぜひお立ち寄りください！

* 日時：令和6年8月24日（土）、25日（日）
9時30分～16時30分

* 場所：県産業展示館4号館

※会場での投票についても、抽選プレゼントの対象となります

投票いただいた方の中から抽選で
いしかわエコデザイン賞2024の受賞作品をプレゼント！
あなたが選んだエコ製品等がもらえるかも♪



製品領域-1

いしかわエコデザイン賞2024 応募作品

JA小松市/株式会社JALスカイ金沢/株式会社 バイオマスレジンマーケティング (小松市)

小松市のお米(非食用米)を使った 小松空港オリジナルお土産の開発

- お箸・スプーン
- ・「KoMeQ」お米のお箸 お米含有率 20% 長さ 230 mm 最大径 9 mm 販売価格 880 円(税込)



- ・「KoMeQ」お米のスプーン お米含有率 34% 長さ 195 mm 幅 35mm 販売価格 880 円(税込)



- J A小松市のお米の粳すり過程で発生する非食用米を使ったバイオマスプラスチック製の小松空港オリジナルのお土産品。
- 石油資源の節約と温室効果ガス排出低減、フードロスの減少につながる。
- 台紙デザインは、小松市民から公募し、最優秀賞に輝いた高校生の作品を採用。ブランド名は、小松空港の空港コードとお米を掛けた『KoMeQ』(こめきゅう)。

製品領域-2

いしかわエコデザイン賞2024 応募作品

小松マテーレ株式会社 (能美市) 汚泥減容化バイオ製剤～Bellefomer～



- 排水処理場から排出される汚泥廃棄物を最大100%削減する微生物製剤。
- 排出・運搬・焼却・埋め立てに伴う環境負荷・CO2排出量の削減。
- 12社16施設、6自治体14施設合計で毎年5000tの汚泥廃棄物削減・540tのCO2排出量の削減の運用実績。

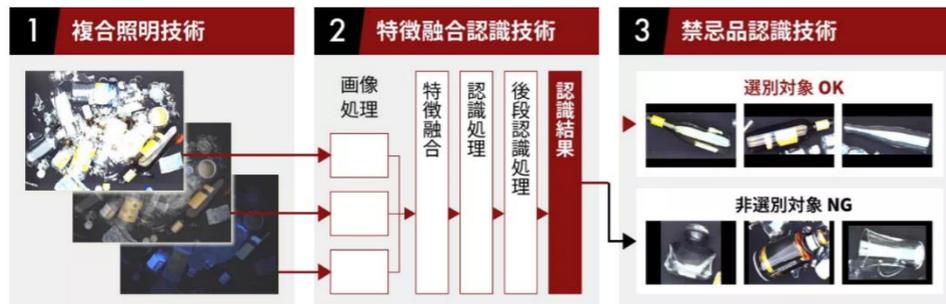
製品領域-3

いしかわエコデザイン賞2024 応募作品

株式会社PFU (かほく市)

廃棄物分別特化AIエンジン Raptor VISION

世界シェアNo.1※のスクナー技術を応用 TECHNOLOGY



- 世界シェアNo.1※のスクナー開発で長年培ってきた光学技術・画像認識技術を応用し、自社で開発した独自アルゴリズムが廃棄物分別ロボットの目となってサポート
- 自動化によって過酷な現場を変えるだけでなく、より多くの廃棄物を選別し再資源化のサイクルを加速

製品領域-4

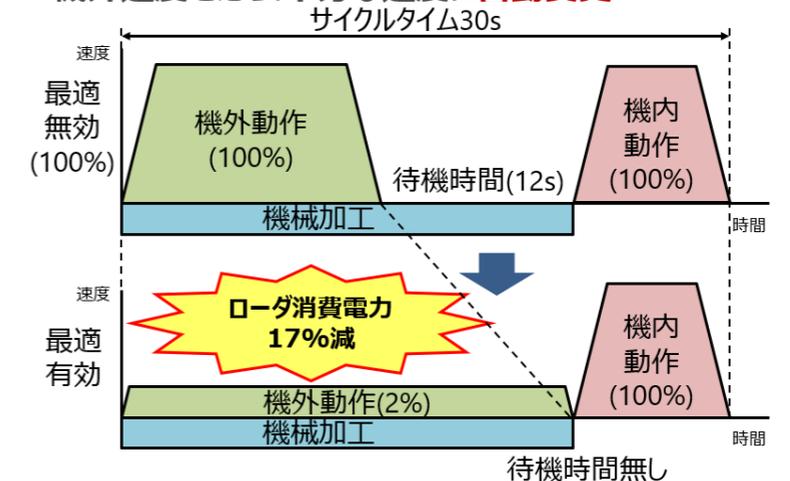
いしかわエコデザイン賞2024 応募作品

高松機械工業株式会社 (白山市)

環境配慮型コンパクトCNC旋盤 XTS-6



サイクルタイムに影響することなくローダが自ら学習し
機外速度を必要十分な速度に自動変更



- コンパクト化・省スペースによる省資源や廃棄物削減、消費電力量削減
- 常時電源オンしているユニットのアイドルストップ機能やローダ（搬送装置）の動作速度の最適化機能などの搭載で消費電力量を低減
- 機械各部の動作速度の高速化を図り非切削時間（加工していない無駄時間）を削減、電力を有効利用して生産効率向上

製品領域-5

いしかわエコデザイン賞2024 応募作品

有限会社クリエイト（穴水町）

皮膚科医と薬剤師とコラボした
「能登ワイン石けん」



- 能登ワイン製造時の残渣を練り込んだ、厚生省届出の「化粧石けん」。
- 皮膚科医が処方し薬剤師が1つずつ手作りし4週間から6週間の熟成。
- 無添加にこだわり、香油も天然のものを使用しているため、排水も環境に優しい。



県民投票を実施中！

皆さんが最も環境保全に
役立つと思う応募作品を
各領域から1つずつ
選んでください♪

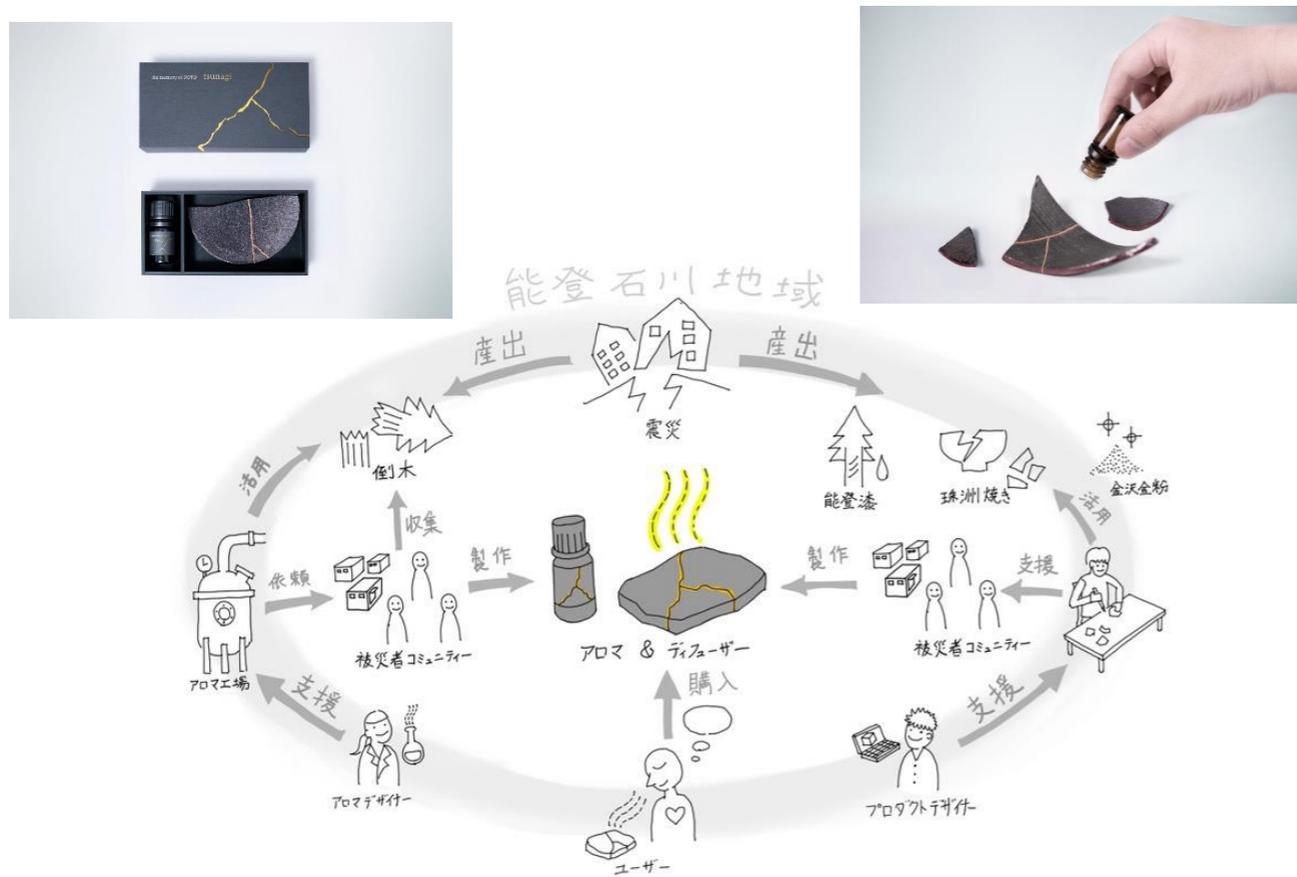
投票いただいた方には
今回の受賞作品を
抽選でプレゼント★

サービス・建築
領域-1

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

プロジェクトチーム つなぐ (珠洲市)

珠洲焼の破片と能登ヒバの倒木によるアロマセット



- 能登地震によって生まれた能登伝統工芸の珠洲焼（すずやき）の破片を使ったアロマディフューザーと能登ヒバの倒木から抽出したアロマオイルを組み合わせた製品を作り、産地の復興を支援する事業。
- 制作を仮設住宅の被災者の方々が行う事で、コミュニティ内での交流を促進し、売り上げを被災地支援に活用します。

サービス・建築
領域-2

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

清峰堂株式会社 (能美市)

伝統産業に革新を起こす
九谷焼のシェアリング

※イメージ写真



- 高額の工芸品をインテリアとしてレンタルする、サブスクリプション型のサービス。
- 購入後の廃棄が減る、海外流出を防ぎ技術の伝承につながる等、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会への貢献が出来る。
- 季節によりインテリアを変える際の、保管スペースが不要。購入時の高額な費用を抑えつつ、お店の雰囲気合う工芸品を試すことが出来る。

サービス・建築
領域-3

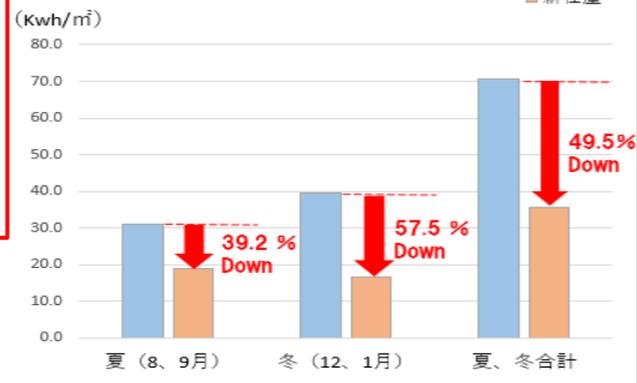
いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

株式会社 高屋設計環境デザインルーム (金沢市)

LCCO2 (ライフサイクルCO2)
低減型オフィスビル



新旧オフィスの
㎡あたり電力使用量比較



新旧社屋比
CO2排出量/時
17.9 kg/㎡ 削減
(約50%減)

- 建設時から解体時までのライフサイクルCO2排出量を削減
- 循環資源の木材を利用 → 鉄骨・RC造に比べCO2排出量の大幅削減に寄与
- 屋上、外壁、基礎の断熱強化、ペアガラス採用等により、高気密・高断熱な省エネオフィス空間を実現

サービス・建築
領域-4

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

北國観光株式会社 (金沢市)

食べて応援！能登まいもんフェア



JAグループ石川

- JAグループ石川
- ・JAのと・JA内浦・JA志賀・JA能登わかば・JAはくい
- ・上記各組合の直売所
- ・スーパーマーケット「A・coop(ジャコム石川)」



ご協賛事業者様



- 石川県内の農業従事者が安心して生産に打ち込める状況を創り出すため、安定的な流通を確保することを基本とした事業として推進していく。
- 規格外商品の野菜も使用し、消費ロスにもつながる。

サービス・建築
領域-5

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

一般社団法人 vitamin G (金沢市)

農家民宿ととのや
～里山を使った「楽しむためのリハビリ」
に出会える宿～



里山を使った「楽しむためのリハビリ」に出会える宿

農家民宿ととのや

- 「楽しむためのリハビリ」をコンセプトに金沢医科大学の医師が設立した宿。
- 野菜収穫や山道散策などの里山体験に、全国で初めてリハビリテーション医学の考え方を導入。
- 「自然を使った身体と心のリハビリ」を提供する石川発オンラインワンの農家民宿として、里山の利活用の新たな可能性を切り拓く。

サービス・建築
領域-6

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

株式会社トーケン (金沢市)

Buddy (相棒) プロジェクト
～環境×福祉で彩りのある社会を～



- 地域の【環境×福祉】を組み合わせ、グリーンで彩りと豊かさを感じる「環境」「社会」「人」にやさしいサービス。
- 屋内（植彩インテリアBuddy）と屋外（低木ユニット緑化システム）の緑化サービスでは、当社独自（①障がい者就労支援 ②3 Rエコ素材による緑化 ③建設技術を活かした緑化）のノウハウを結集。

サービス・建築
領域-7

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

株式会社リクラ（金沢市）

「すてずに すてきに Re:craft」プロジェクト
～Rotch(ロッチ)と
Kimonoyarn（キモノヤーン）～



- 「捨てるものを素敵なものに」アップサイクルする取り組みを行っているプロジェクト。
- Rotchは冠婚葬祭で廃棄されるロウソクを利用して生まれたアップサイクル商品。マッチのように着火することを可能にしたアロマキャンドルと目を惹くこだわりのパッケージデザイン。
- Kimonoyarnは日本中で使われなくなった着物をハンドメイド素材にアップサイクルした素材。編んだり結んだり、その他さまざまな方法で作品を生み出すことのできる新しい素材。



県民投票を実施中！

皆さんが最も環境保全に
役立つと思う応募作品を
各領域から1つずつ
選んでください♪

投票いただいた方には
今回の受賞作品を
抽選でプレゼント★

教育・社会活動
領域-1

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

とりごえ保育園 (白山市)

たのしくおいしくエコだいさくせん！



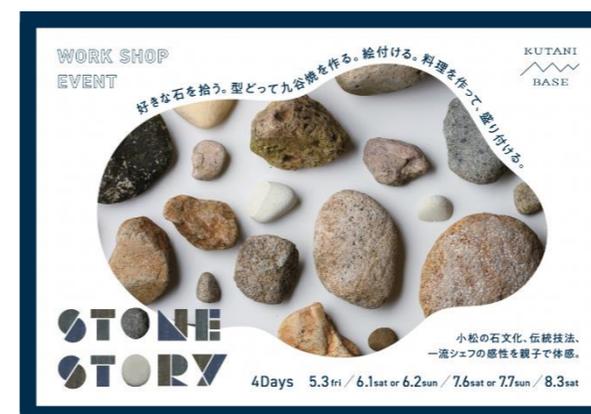
- 給食調理で出る野菜クズや卵の殻、草刈り後の雑草、落ち葉などを微生物くんたちに分解してもらって栄養満点の土に再生してもらおう作戦を2018年から展開中。写真は第5号のコンポスト君。
- これまでは廃棄してしまっていたお出汁の昆布を、食材の一つとして工夫して調理・食べきることで、食品ロスの削減。

教育・社会活動
領域-2

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

九谷 セラミック・ラボラトリー
(小松市地域おこし協力隊3名) (小松市)

STONE STORY (ストーン ストーリー)
石の文化を中心にした郷土教育プログラムの展開



- 地元文化及び自然環境の恵みを認識し、将来的にそれらを保全する若き人材を生み出す事を目的とした【郷土教育プログラム】。
- 本プログラムは体験を通して地域の恵まれた自然や文化を認識する事で郷土への愛着を高める事ができ、Uターンや移住促進につながる事を目的にしている。

教育・社会活動
領域-3

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

石川県立金沢泉丘高校普通科
普通コース2, 3年探究班 (金沢市)

「Garbage Free City」
ボードゲームによる環境問題意識向上作戦！



1回のみ ×3 生分解性プラスチックの開発	 4 プリントをデジタル化した	台風 サイコロを二回振って出た目の2人の海ごみを交換
街カード	アクションカード	災害カード

- 世界が抱える自然環境問題について、若い世代が「遊び」を通して考えられる機会の提供を目指し、楽しみながら学べるボードゲーム「Garbage Free City」を作成。
- 大逆転が起こるようなゲーム的要素も高めており、小学生から高校生や大人まで幅広く楽しめるよう工夫をした。

教育・社会活動
領域-4

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

親と子の絵本ワールドイン・いしかわ
実行委員会 (県内全域)

世界へ旅する絵本ボートプロジェクト



- 『絵本』を通じて、子どもたちの世界の海への興味と好奇心を高めながら、「世界の海=自分たちの海」というグローバルな感覚を磨き、親子へ海を守るための自発的なアクションを促すプロジェクト。
- ①世界の海がテーマの絵本企画展示、②世界の海がテーマの絵本読み聞かせ、③海岸の漂着物を用いた創作イベント、④子どもたちの作品を1冊の絵本にする「漂着モンスター作品募集&絵本制作」、⑤制作絵本を世界へとどける「海外への絵本寄贈」の大きく5つの取り組みを実施

教育・社会活動
領域-5

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

つるぎっこ（学校法人鶴来学園）（白山市）

健やかな心と体を育むオーガニック給食

身土不二

自分たちが生活している地域で採れる作物を食べる



一物全体

野菜の皮むきなどはせず、命丸ごといただく

感謝して
いただく

食べものや作ってくれた人、全てにありがとうの気持ちをもつ

よく噛む

唾液には殺菌・抗菌作用があるため、唾液を出すためよく噛む。

噛むことを意識し、一口目は30回以上ゆっくり、しっかり噛みます。

安心安全な食材を子ども達に…

- オーガニックレストランJAS/JONAオーガニックレストラン3つ星を取得。給食で使用している食材の80%以上が、有機JAS認証を取得しているオーガニック食材。
- 玄米ご飯・味噌汁・おかずをベースにした「玄米和食」のメニューや、旬の野菜を美味しく食べることで、自然の力で体の調子を整え、不要なものを出せる体作り。
- 野菜はなるべく皮ごと調理し、野菜くずはたい肥にしたりヤギの餌にしたりしている。大人も子どもも協力して残食を減らし、地球も喜ぶ給食となっている。

教育・社会活動
領域-6

いしかわエコデザイン賞2024
応募作品

金沢大学学生団体ぐるぐるラボ（金沢市）

「旅するごみ箱～海からつながる、ゴミ拾い～」
presented by 学生団体ぐるぐるラボ



- 「環境問題を楽しく面白く解決する」ことを念頭に活動。
- 通称「うおこ」と呼んでいる移動式ごみ箱と一緒に、日本中の海岸のゴミ拾いイベントにあらわれ、盛り上げる。
- このゴミ拾いを通して交流のきっかけを作り、その「つながり」から循環型生活に向けたムーブメントを起こす。